

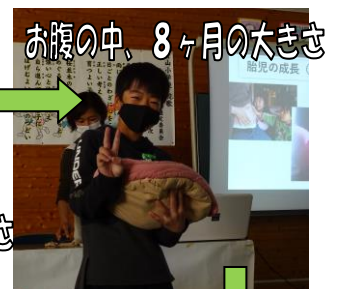
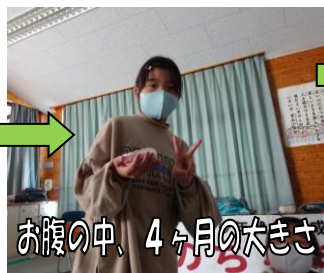


☆いのちってすばらしい！☆

榛南ライオンズクラブの後援で、助産師さんによる「いのちの話」講座を行いました。「いのちの話」では、保健の学習の発展として新しい命の誕生についてお話いただきました。

卵子と精子が会うことは奇跡的な確率であることや受精卵が針の先くらいの大きさであること、それがおよそ10ヶ月の間、お母さんのお腹の中でぐんぐん成長すること、そして、平均16時間かけてお母さんから産まれることなどのお話を聞きました。子どもたちにとって、驚きがいっぱいのお話ばかりでした。

子どものありのままの姿を大切にする気持ちや命の尊さ、両親や家族の愛情に包まれて生まれ、成長してきていることなど、日常に慣れてしまって思いが薄れていることがたくさんあることに気付かされました。約10年前に産まれた大切な命。この講座を期に、この10年をふり返って、子どもたちから話を聞いたり、お家の方の思いを子どもたちに伝えたりしてみるのもいいですね。



こうしてお腹の中で大きくなったんだね。お母さんは、大変だっただろうね。お母さん、ありがとう♡

☆「いのちのお話」を聞いて…☆



ぼくは最初、命はただあるだけだと思って話を聞いていました。だけど、**命ってこんなに大事なんだ**ということがわかりました。お腹の中で赤ちゃんは、小さな卵から少しずつ成長して、体が大きくなり、産まれる頃になると頭が重くなって頭が下になることもわかりました。産まれる頃には体が大きくなって体重も増えて重くなります。たった一つの命がこうして産まれてくることがわかってうれしかったです。【THさん】

ぼくは、命の話を聞いて、命はとても大事だなと思いました。しかも**とても感動しました**。赤ちゃんもかわいかったです。赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいたとき、あんなにちっちゃいとわかってびっくりしました。あんなに小さな豆粒くらいの大きさからあんなに大きくなると聞いて驚きました。**ぼくが赤ちゃんの時もそうだったんだな**~と思いました。【NHさん】

今日、命の勉強をしました。赤ちゃんはとても小さく、お母さんのお腹の中で育っているのがわかりました。小さな点が大豆くらいになって、少しずつ大きくなって行くんだなと思いました。大きくなっていく中で、手や足、目に口、耳がつくられていくのがとても不思議でした。お母さんの食べた物が赤ちゃんの栄養につながっていることもわかりました。**私もお母さんとへその緒でつながっていたと思うと、うれしいです**。お母さんからもらった命を大切に生きたいです。【NYさん】

私は、赤ちゃんがお腹の中にいるとき、最初は0.13mmだということにびっくりしました。しかも、お腹の中でしっぽが生えたり、水かきがあったり…本当に魚みたいでした。お腹の中ではまだ目も見えなくて、しっかりとした鼻がないことにもびっくりしました。それなのに、水の中で過ごすとはすごいと思いました。**出産の時もすごく長い時間で産んでくれる**ことを知りました。**今では母を怒らせてほっかだけど、感謝したいです**。【YHさん】

今日は、命の勉強をしました。ぼくは、赤ちゃんをだっこしました。重くて腕が痛くなりました。**ぼくもこうやって産まれたんだ**ってわかりました。ぼくは、命の話を聞いて、友達や家族と自分を大切にしたいと思いました。

ぼくが一番びっくりしたことは、赤ちゃんが産まれる時間が一番長い人で56時間かかったということです。ぼくは3~4時間ぐらいで産まれるとだと思っていただけ、平均が16時間ぐらいで予想とぜんぜん違いました。

自分は、**体に気をつけて、事故にあわないで、命を無駄にしないぞ**と思いました。命の話を聞いてうれしかったです。【KRさん】

今日のお話を聞いて、**自分が産まれてきたことがとてもすごいこと**だとわかりました。一人3億個の卵が産まれるのに、1人~4人くらいしか命にならないことを知りました。それと、赤ちゃんは産まれる時、とても細い道を頭の形を変えて出てくることも知りました。**今までだいたい生きてきたけど、話を聞いて、自分に自信ができました**。これからも友達や家族と仲良く生きて生きたいです。【THさん】



お母さんのお腹から産まれる様子を見せてくれました



自分の考えをいきいきと話すことができました!

